めじろ
mejiro news

目白新聞
発行：目白新聞発行委員会
住所：〒170-0031
東京都豊島区目白3-1-24
メールアドレス：
meji-1@mail.goo.ne.jp

題字：社団法人 創玄書道会
加藤 有鄰

目白駅のそばに資料館ができました。毎日使っている駅なのにあまりにも知らない事が多いのでは!?

山手線で一番多くの駅をもっている区は豊島区であることは意外と知られていません。内回りの、駒込からはじまり、巣鴨、大塚、池袋そして目白。山手線29駅中なんと5つもの駅が豊島区にはあります。

その豊島区で一番古い駅が目白駅です。いまの豊島区の地域の中でまっさきにできました。1886（明治18）年の開業です。池袋駅は1903（明治36）年開業で目白駅よりずっとあとのことになります。

開業当時の山手線は品川から渋谷、新宿を通り板橋から赤羽までで、5駅だけでした。この5駅の開業後2週間たってから目白駅が目黒駅とともにできています。

目白駅の名前の由来は、目白不動からきています。江戸の五不動といい、江戸を守るために五つの色をした不動を江戸の周囲に配置しました。けれども目白不動は明治初期には今の江戸川橋にあって、駅から2キロもあり、はなれすぎています。当初は高田駅が駅名として考えられていたようです。

この当時品川、赤羽間は一日三往復だけ。今から思うと夢のようです。もちろん汽車が走り、単線でした。しかし、なぜこのようなところに鉄道を敷いたのでしょう。

上州を中心とした生糸の輸出を増産させるため、横浜への直接輸送がその目的でした。高崎線を使って、終点の上野まで運んだあと、馬車で隅田川まで運ばねばならず、市街地をよけるバイパスとして発案されたのです。

目白駅の開業時は駅舎は線路の西側にありました。ホームは北行南行の二つ。目白通りは清戸道といい山手線と地上で交差し、踏切があったそうです。駅前には人力車がとまり、長閑なけしきがひろがっていたと言われています。

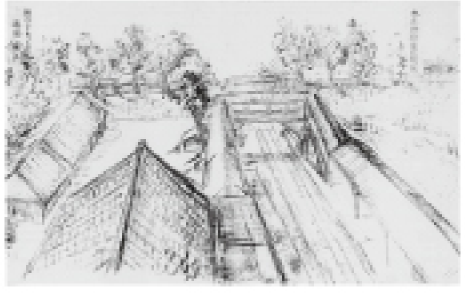
いまの目白通りは高いところに新しく作られ、新道と呼ばれ、切り通しを渡る木の橋が架けられました。

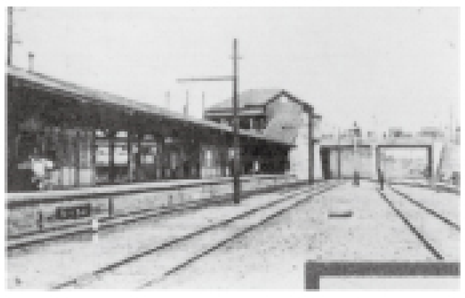
駅舎の変遷もおもしろく、西側の地上にあった駅が、いつしか目白通りの前にあがり、最終的に橋の上に駅舎ができるというきわめて珍しいことがおきました。橋上駅といい、目白駅が日本で一番古いものだという事です。この形式は今でも建物は変わってもつづいています。

そのような複雑怪奇な目白駅の歴史を分かりやすく見せてくれる展覧会が目白駅のそばにできた私設資料室、「白鳥座サロン」で催されています。その内容はかつての地図や写真、スケッチなどで、往時の目白駅の姿がしのばれます。

とくに注目されるのが明治期のいまでは幻となってしまった目白地上駅の配置図、初期二階駅舎などの写真や図面、などは必見です。

土曜のみ開室
7月27日まで
10時から4時まで
℡03-3953-2778


大正時代の駅舎スケッチ


大正時代の駅舎

昭和4年橋上駅（新宿方面より）

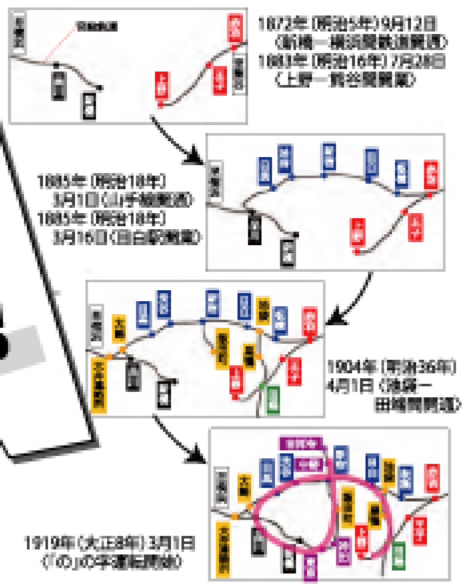
昭和50年代ホーム

目白駅ホームより

えきは街とともに生きている

目白駅資料展 開催中!!

白鳥座サロン


1872年（明治5年）9月12日（新橋—横浜間鉄道開通）
1883年（明治16年）7月28日（上野—熊谷間開業）

1885年（明治18年）3月1日（山手線開通）
1885年（明治18年）3月16日（目白駅開業）

1904年（明治36年）4月1日（池袋—田端間開通）

1919年（大正8年）3月1日（「の」の字運転開始）

白鳥座サロン「目白駅資料展」

—えきは街とともに生きている—

【解説】

目白駅は豊島区内最古の駅である。1885（明治18）年、板橋、新宿、渋谷に遅れること15日で開業している。同日に目黒駅も開業しており、目白目黒といった不動尊の名前を使うといったことをしている。当時は株式会社日本鉄道が経営した。岩倉具視らを中心とした公家の資金調達のためにつくられた会社である。

目的は官営の富岡製糸工場からの生糸を運ぶためのもので、直前までは上野駅から荷車で隅田川まで運び、川路横浜までの輸出のためのものを、線路によって直通させるものだった。現在、北関東の工業生産品を陸路国道16号線や、山手トンネルなどを使い横浜港に運ぶこととまったく同じ目的を持っていたのである。

このように、明治初期は鉄路を含む様々な変化があり、実に複雑であり、あまり記録に残されていない。その理由の一つには、鉄路が兵器であり、あまり公にされるべきものではないといったことが暗に隠されているからなのである。

また、国立であった学習院が明治42年に移転され、皇室皇族を防御するために駅舎構造なども公にされることは少なかったであろうことは想像に難くない。

日本鉄道が私鉄であっても、所詮は官立と同じようなものであり秘守義務もあったであろうことも同様なものと思われる。

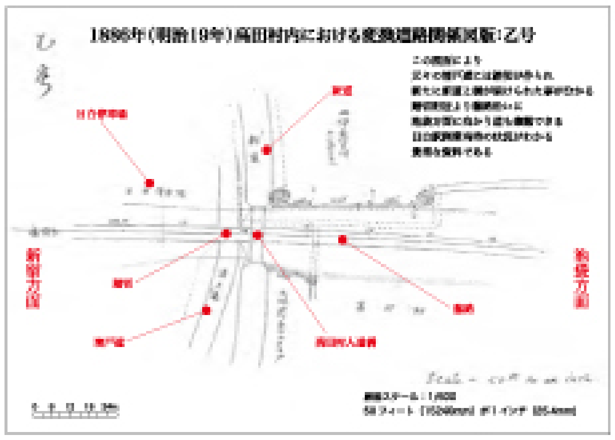
しかし、時代は変わり鉄道院は鉄道省となり、日本国有鉄道をへて、東日本旅客鉄道株式会社となり、情報の公開がすすんだ。また東日本旅客鉄道株式会社傘下である鉄道博物館資料室も情報公開に積極的であり、今回の調査の大きな役割をなした。

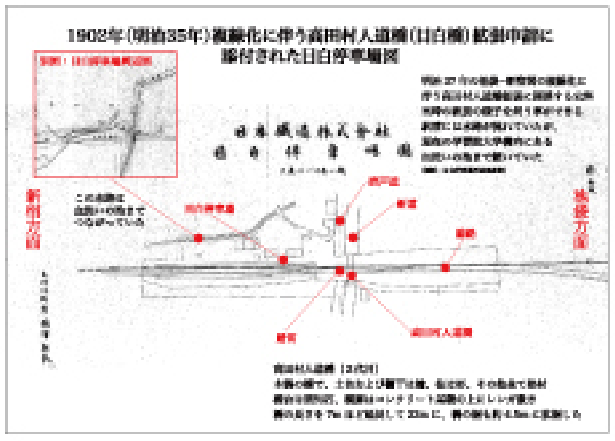
以下、今回の調査によって入手できた資料の内容は以下のようになる。

1最初期目白駅の地形的図面
2大正期完成目白駅の地形的図面（1922大正11）ならびに駅舎の図面
3昭和期目白駅の地形的図面（1929昭和4）ならびに駅舎の図面
4目白駅付近の公図（年代不詳から平成まで）
5大正初期の目白駅スケッチ（1945年製作）
6大正初期の駅舎平面図（鉄道省東京鉄道管理局）
7平成12年完成の目白駅図面　など

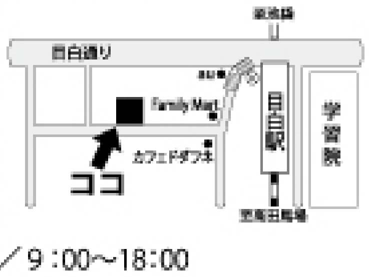
今回の資料が今後の目白駅調査の布石となることを願いたい。

2013年6月吉日
白鳥座サロン　青木滋


1886年（明治19年）高田村内における変換道路関係図版：乙号


1902年（明治35年）複線化に伴う高田村人道橋（目白橋）拡張申請に添付された目白停車場図

目白資料館
白鳥座サロン



開館時間　平日／9：00～18：00
土曜日／10：00～16：00　日・祝休み

〒171-0031　豊島区目白3-4-5　西武写真印刷内
TEL03-3953-2778 E-mail mejiro_hakuchoza@yahoo.co.jp
ホームページ　http://www.geocities.jp/mejiro_hakuchoza

駅長日記

目白駅に着任して1ヶ年が過ぎ、これまで地域の皆さまを始めとして多くのお客さまから心温かく受け入れていただきましたことを心より感謝いたしております。

目白駅の改札口を出ると一面に池袋周辺のビル群が目に入り、木々の緑も鮮やかに輝き、駅前広場を見渡すと花壇には季節の花が咲き乱れて整然とされ、ゴミも落ちていなく、放置自転車もなく行き交うお客さまが楽しそうにしている姿に感動を覚えております。

今年も5月21日に目白駅美化同好会のご協力と目白幼稚園の園児のみなさまにより、駅前広場の一角で五つのプランターに心を込めて「田植え」を行いました。今は太陽の光を一杯に受け、すくすくと稲が元気に育っており、実りの秋の刈り取りを園児のみなさまと行えることを楽しみにしております、駅社員でこれからも丹精込めて手入れをしてまいります。

目白駅では「ホームドア」の設置に向けて、現在工事が着々と進んでおり、ご利用開始は、今年の11月上旬を予定しております。お客さまのホーム上での安全と安心確保を最優先としており、これまで夜間に工事を行い皆さまにも大変ご迷惑をお掛けいたしましたが、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

昨年もお話しましたが、これまでも「素敵で愛される目白駅」を目指しており、目白のランドマークである「駅」を綺麗にして、日々お客さまから気持ちよくご利用いただけるようにこれからも社員と共に精一杯に取組んでまいりますので、今後とも温かいご支援をよろしくお願いいたします。

■切符のお求めは目白駅で

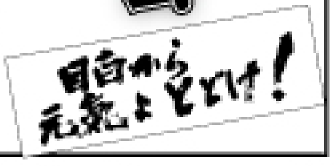
これから夏休みシーズンを迎えますが、ご家族やお知り合いなどで海や山などへの行楽地におでかけの際や帰省される際には、ぜひ目白駅みどりの窓口で、きっぷをお買い求めいただきますようお願いいたします。社員一同心よりお待ちしております。

（JR目白駅長　丸山康雄）

ご意見・広告・お店探訪の申し込みは
メールアドレス　**meji-1@mail.goo.ne.jp**

携帯電話からはQRコードを
読み込んで下さい。（メール）

目白駅とともに 目白駅美化同好会50周年


目白から
元気よとどけ！

今年の6月、目白駅美化同好会は発足50周年を迎えました。

目白駅美化同好会は、1963年（昭和38年）目白駅が新装されたのを機に、地元より目白駅を生活美化の中心にしようとの目的で立ち上げられました。

初代会長には目白の文化人の一人でもあった徳川義親氏が就任し、発起人には当時の国鉄「目白駅」はもとより目白の各町会関係団体、地元企業、学校そして目白文化協会も名を連ねました。

現在の会長は5代目になる菅野之久氏で目白4丁目にお住まいです。

立ち上げ当時の趣意書には「目白駅は私たちの玄関口です。またお互いのなつかしいこころの故郷でもあります」の言葉があります。毎年5月には総会が開かれますがその精神は現在も受け継がれています。

1964年（昭和39年）に開催された東京オリンピックに際し、海外から来るお客様にも恥ずかしくないように駅構内に花壇を設置したり駅舎内にミニギャラリーを開設したりと、目白駅を美化することを活動の主体としました。

その後、2001年（平成13年）現在の駅舎に建替えられてからは「駅前田んぼ」「花壇の手入れ」「こいのぼりの掲揚」「記念日等の国旗掲揚」などの活動が行われています。

ちなみに、「こいのぼりの掲揚」に使われているポールは東京オリンピック開催期間中にメイン会場で各国の国旗掲揚に使用されていたものです。

東日本大震災が発生した2011年（平成23年）には、「目白からも被災地へ何か出来ないか」と目白駅美化同好会が呼びかけ、目白小学校の協力により同校5、6年生の皆さんの「花」をテーマにした絵に、社団法人創玄書道会理事の加藤有鄰氏が「目白から元気よとどけ！」の題字を書いていただいて大きな横断幕を作製、目白駅から被災地へエールを送りました。

目白駅の関係者の方々には、今まで以上に目白の美化活動を精力的に行ってくださっています。埼京線が目白の線路を通過するようになってから、難しくなっていた線路沿いのつつじの手入れを、清水前駅長が始め、丸山現駅長が引き継ぎされJRの方でしてくださっています。

そのおかげで近頃は、花を咲かせる枝もちらほら見受けることができるようになりました。

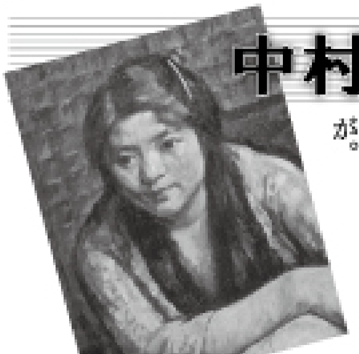
これからも目白駅美化同好会は目白駅と協力し、目白の美化、振興を目的として活動してまいります。今後も皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

▶目白駅開業80周年記念（昭和40年）

▲花壇手入れ風景（昭和50年頃）

▼つつじ祭り（昭和50年頃）

中村彝（つね）アトリエ記念館



中村彝は大正期に活躍した洋画家で1924年（大正13年）37歳という若さでその才能を惜しまれつつ亡くなりました。今年の3月、下落合に残っていた中村彝のアトリエが新宿区により復元され記念館としてオープンしています。大正時代の部材も再利用してアトリエ自体が貴重な文化資源となっています。ぜひ目白駅からちょっと寄り道してはいかが。

■中村彝アトリエ記念館の概要

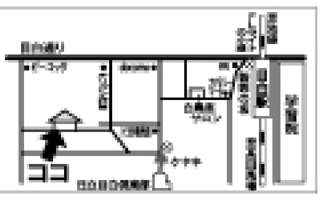
【所 在 地】新宿区下落合3-5-7（JR山手線目白駅徒歩10分）

【開館時間】午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

【休 館 日】月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日が休館）、年末年始

【入 場 料】無料

【電話番号】03-5906-5671（3月17日から）



2014年、年末は目白がおもしろい！

目白駅を利用されている方なら駅前の工事はご存知だと思う。

以前はコマースという目白のシンボル的な商業施設が建っていたが、現在川村短大の敷地を含めて新しい商業ビルの建設が始まっている。

建物の名称は現在検討中との事だが地上４階地下２階からなり、目白に相応しい自然の質感・素材や豊富な緑を意識した建物となりそうだ。

テナントは地元で以前からおなじみの「小林紀子バレエ・シアター、小林バレエアカデミー」、「エスケースタンプ」の他、地下１階に食品スーパーマーケットの「クイーンズ伊勢丹」、３・４階には婚礼・宴会を行う「アタープル松屋」が決定している。１・２階には15ほどのテナントが入る予定で、担当者によると目白のイメージにあった店舗を選考中とのことで建物の名称と合わせ発表が楽しみである。２階には、施設のコンセプトでもある「コミュニケーション」の場としても利用されるスペースも検討中のようだ。

完成予定は2014年11月だが、その直前に目白小学校の建替え工事の完了も予定されており、目白駅の周りに楽しみなスポットが続けて出来るという周辺に住む人、目白に訪れる人にとって、一足早いクリスマスプレゼントと言えそうだ。

目白まちづくり倶楽部

コミュニティ道路 事例見学と今年度の活動

6月1日午後目白駅前に集合、区が用意したマイクロバスに乗り込んだ目白と下落合の方々総勢21人、「コミュニティ道路先進事例の見学会」がとり行われました。主催は目白地域協議会、豊島区道路課の協力を得ました。これまで2年にわたるコミュニティ道路検討委員会の席上で取り上げた各種方法の実際を体験し、今後の参考にするためです。世間は想像以上に先を行っていることが結果として得た印象でした。

■見学事例は隣接区の4カ所

見学場所は、杉並区と新宿区の4ヶ所、蚕糸の森公園周囲、宮前2丁目新設道路、上井草1，3丁目の歩車共存道、西落合3，4丁目コミュニティゾーンです。いずれも車道の狭隘化、歩道（路側帯）の最大化、フォルト（歩道の突き出し）や並木などで、車道線形をスクロールさせるなど、車のスピードを落とす工夫が成されています。ボラード（歩行者を守るポール）や植栽帯などを加え、立体化を図ることで効果を上げています。それぞれの方法の観察をとおして、実際的に考えることができました。

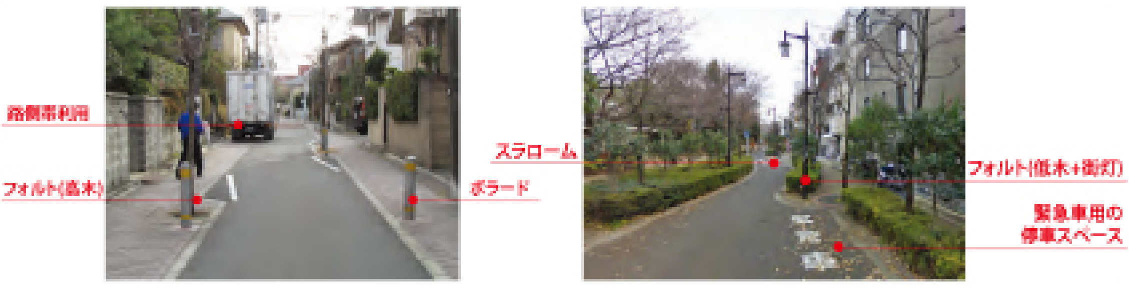
■目白地域協議会・コミュニティ道路検討委員会

目白の全町会・下落合を網羅する地域連絡会「目白地域協議会」は、共通の課題を話し合う場として「コミュニティ道路検討委員会」を設置し、既に3年目を迎えました。明治通りから山手通りまで住宅地を貫通する2㎞の幹線区道を、通り抜けの車を減らし（無くし）スピードを抑制することで、高齢者や児童をはじめ歩行者、自転車が安心して通れる「歩車共存の道」「生活道路」とすることを目的としています。

■昨年度までの成果とこれから

山手通りからりそな銀行まで通称「目白古道」では、交差点改良工事が行われました。交差点の車道を歩道パターンで狭め、注意喚起し車のスピード抑制を試みています。これは第一歩です。一方、「目白小学校北側道路」では、見学会でも確認した方法を一通にすることで実現することを中心に、明治通りからの右折車の抑制、目白小と警察の入口から明治通りへ通りぬけの抑制など、3つの対策案が検討されました。昨年暮れには二丁目全域1200世帯でアンケートを行い、多くの方から何らかの対応を希望するとの回答をえました。回答率はこの手のアンケートではかなり高い約17％でした。今年度は、アンケート結果を織り込み、実際にも即した対策案を区の道路課、警察交通担当者と共に検討提案し、年度後半の道路課による設計へつなぐことを予定しています。検討委員会は、毎月1回公開です。皆さまの参加をお待ちしています。

柴田知彦（検討委員会委員長）


路側帯利用
フォルト(高木)
ボラード
スラローム
フォルト(低木+街灯)
緊急車用の
停車スペース

クキモトデンタルクリニック
豊島区目白3-3-1-5F
TEL：03-5996-0336
休診日：日曜・祝日
URL http://www.kukimoto.jp

Café de Daphné
カフェ・ド・ダフネ
LUNCHサービス ¥780
10:00～20:00
定休日 日祝日
03-3950-9712

平日 10:00～19:30
日 11:00～17:00
土曜、祭日休診
東京都豊島区目白3-13-18
TEL/FAX 03-5988-4114

Ballerina
バレエ用品の
バレリーナ目白店
〒171-0031 豊島区目白3-13-1
T.Nビル3F, 4F
AM10:00～PM7:00
03-3952-3388

リッチモンド フィットネス クラブ
東京都豊島区目白3-5-14
TEL
03-3565-4121
URL
http://www.richmond-fit.com

創業 昭和23年
首都開発株式会社
03-6915-3362
アパート・マンション・土地・[illegible]・[illegible]
お気軽にご相談ください。

ダイヤモンド輸入卸
宝飾品小売販売
ジュエリーショップ
アンヴェール
TEL 03-3950-7117

ID labo
ニットの企画・生産のアドバイス
[illegible]
有限会社 アイディ ラボ
〒161-0033
東京都新宿区下落合3-16-10
TEL 03-3951-0159

上海風中国料理
揚子江
目白店
餃子・春巻・焼売
全国配送受け賜ります。
3952-4121

家庭料理
なごみ
美味しいお料理と
落ち着いた空間で
なごみのひとときを
目白駅すぐ!!
豊島区目白3-14-18目白ホワイトハイツ102
TEL:03-3565-0758
定休日:日、祭日

[illegible]
Le Bistrot Ami
ビストロ・アミ
TEL 5982-9560
ランチ
11:30～14:00（LO13:30）
定休日 日・祝日
ディナ
17:30～AM2:00（無休）
[illegible]
ビストロ NO・MI・NO市

目白動物病院
TEL 03-3953-0669
■診察時間
AM9:30～PM6:00
■休診日 日曜・祭日

目白三丁目町会の祭礼

今年も恒例の高田総鎮守氷川神社例大祭が執行されます。

目白駅前四季の広場において御神酒所を設営し模擬店等も準備して盛大に開催致します。

9月上旬開催予定

第4回 目白新聞杯ゴルフコンペ参加者募集

開催日：平成25年11月10日（日） 場所及び費用は未定

■お申し込み方法（メールまたはFAX） 申し込み〆切10月20日

メール：meji-1@mail.goo.ne.jp

FAX：03-3950-1452

（[illegible]）

ご意見・広告・お店探訪の申し込みは
メールアドレス meji-1@mail.goo.ne.jp

携帯電話からはＱＲコードを
読み込んで下さい。（メール）

10号クイズ当選者　埼玉県 鳥井様、埼玉県 山崎様、目白 長井様、目白 植草様、西池袋 小林様